

megu

2017.4月号... vol.107

フコ 桜花餅の心
人と動物の幸せを繋ぐ！
東京都動物愛護推進員の
茅山真弓 皆様へ



見えないストレスに要注意

4月になるとワンちゃんがいるお家には、役所から狂犬病予防接種の通知が来ます。同時に動物病院からは健康診断・ミダニ予防・フィラリア予防を...と通知が来るお家もあるかと思いき、どれも健康に欠かせないもの。おんなじうち！と一度に済ませたいと思いませんか？そんな時 **要注意**。予防接種やその他の予防薬は、ワンちゃんの体内では解毒するため肝臓の回転で吸収されています。見えない大きなストレスがかかっています。注射と予防薬服用は1週間ほど間を空けてあげるとをオススメします。シャンプーも実はストレスになるので、注射や予防薬とシャンプー!!とまとめてしないことが大切ですよ。

さくら

観て・食べて・加工に楽しむ

今年の春は寒暖差が激しいですね...お元気で過ごせましたか？例年よりもゆくりゆくりと満開になった(都内)ソメイヨシノ(東)地元の小学校の入学式は満開の桜の中でした。ソメイヨシノが散ってしまうと、お花見モードも終わりのように感じますが、サクラは300種以上存在するので、これから5月にかけて満開を迎える品種もとても多いですね。10月に咲く品種もある。新宿御苑では1年中サクラが咲いているといわれます。まだお花見していない皆さんもまだまだこのからのサクラをお楽しみ～♪ そうそう、サクラの「香り」成分は不安や緊張を取り除き、自信回復させるチカラがあるそうです。新入生・新入社員...サクラの下を通り笑顔でがんばって。サクラは観るだけでなく、古くから漢方薬として(桜皮)せき止め・痰切り・じんましん・湿疹などの治療に使われています。花の部分は塩漬けにされ、桜茶や最近ではケーキに使用されたり、野菜と一緒に漬けた浅漬けにも利用されています。葉も桜もちに巻いたり...サクラ大活躍!! 漢方薬として皮が使用される他、秋田の伝統工芸「樺細工」では山桜の皮を使用し加工され、根強いファンも多いとか。

← このほどまはに人に愛され、毎年の開花を楽しみにしている花は、そうそう類を見ないですよ。サクラが美しく咲いてくれる自然環境を守り続けていかなければなりません。

かんたんレシピ

《長芽の桜花漬け》(4人分)

- 長芽 200g
 - 塩 1/2
 - めんつゆ 20g
 - 水 200g
 - 桜花塩漬 1~2本
- ① 長芽は皮をむいて食べやすい厚さ、サイズに切る
 - ② 塩・めんつゆ・水を合わせたものを金鍋で煮沸かし、熱いうちに長芽を入れた容器に注ぐ
 - ③ 容器に桜花塩漬を塩抜きせず入れて冷蔵庫で一晩寝かせて完成～♪

...春の食卓にいかがでしょうか？



愛いスノコ!! 運命は如何に...

さて、ここはどこでしょう？



そう、引っ越し待ちの魚屋さんです。昨年、引っ越し予定で辛抱していたものも耐えられない状況になってきます。



大切なお客さんが、つまづいて転んだら大変です！何十年も頑張ってきた足元のスノコ...限界でした。



大工さんが一生懸命造った愛いスノコは、どのくらいの寿命を頂けるのでしょうか...??? 引越しのその日が来るまで美しいままで！

花行元 Meijiの福徳部 橋本良一様
売建設(株) 新宿区新宿1-10-4
Tel. 03-3350-6689
Fax. 03-3350-8186